

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 4 年 6 月 22 日現在

機関番号：12501

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06551

研究課題名（和文）文明と広域ネットワーク：生態圏から思想、経済、運動のグローバル化まで

研究課題名（英文）Civilizations and Wide-Area Networks: From the Ecosphere to the Globalization of Ideas, Economies, and Movements

研究代表者

五十嵐 誠一（IGARASHI, SEIICHI）

千葉大学・大学院社会科学研究院・教授

研究者番号：60350451

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 64,500,000 円

研究成果の概要（和文）：本研究では、研究代表者・分担者・協力者が、現地調査を年1～2回実施しながら、国内で研究会を開催するなどして研究の発展に努めた。経済統合・開発、コモンズ・文理融合、移民、農村・人の移動に関する4回の国際ワークショップ・シンポジウムを開催し、研究を世界に発信した。研究成果として、国家の枠組みを飛び越えて繋がっていく国際NGOやグローバルな組織、広域の関係性や存在に着目した『ローカルと世界を結ぶ』（岩波書店、2020年）、コモンズをキーワードとして文理融合を図ったFrom Mekong Commons to Mekong Community(Routledge, 2021)などを刊行した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

国際政治史からイスラーム社会運動、文明論、国際経済、市民社会論、文化人類学、環境農学と、極めて幅広い方法論を融合して展開される本研究が共有したのは、現象のグローバル性に加えて、方法論上のグローバル性である。グローバル化された社会を帰結としてではなく前提とし、アプローチ自体をグローバルな形で行う研究は、従来の研究方法には見られない。加えて、本研究は、文理融合型の体制をとり、問題解決の実践を研究計画内に織り込んでおり、応用型総合的社会科学を体現するものとなっている。

研究成果の概要（英文）：The principal investigator, subcontractors, and collaborators worked to develop this research by conducting field surveys once or twice a year while holding study groups in Japan. Four international workshops and symposiums on economic integration and development, commons and integration of humanities and sciences, migration, and rural areas and human mobility were held to disseminate research findings to the world. The major research achievements include "Linking the Local and the World" (Iwanami Shoten, 2020), which focuses on international NGOs, global organizations, and wide-area relationships and existence that are connected beyond national frameworks; From Mekong Commons to Mekong Community (Routledge, 2021), which focuses on the humanities and sciences with the commons as a keyword.

研究分野：国際関係論

キーワード：コモンズ グローバリゼーション 文理融合 メコン 市民社会 トランスナショナル 移民・難民

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

従来の国際政治経済において、安全保障上のリスクである戦争や経済摩擦などは、国家を主体とした国家間の相互作用の結果であった。しかし、21世紀のグローバル社会は、日常生活環境、経済活動、情報から思想・信条に至るまで、国民国家の枠組みを超えたグローバルな諸要素の影響を受けており、環境汚染や感染症、食の安全、テロリズムなど、国家を超えて共有されるリスクの領域が格段に広がっている。こうしたリスクは、便益と同様に、グローバルな経済活動に伴うモノ、カネ、労働力、情報の拡散によって、容易に国境を越えて世界に拡大する。こうしたグローバル・リスクは、国家主体による個別の対応によって解決されるものではなく、「国家間対立の次元とは異なる『安全保障』」が必要とされる。「人間の安全保障」という概念が示すとおり、国家主体を単位とする従来の国際関係を越えた新たなグローバル・アプローチの確立が喫緊の課題となる。

既に個々人の生活の基底にある価値を脅かすグローバル・リスクの拡大と国家という枠組みの限界を前に、市民レベルでは人権擁護、移民保護、環境保護、貧困解消、農村開発、紛争予防など多様な分野で、情報技術を駆使した越境的なネットワークが構築され、それらが経済のグローバル化の負の側面に留意した「オルタナティブ」なグローバル化を志向する運動として新たな思想と規範を帯同しながら現出している。

このように国家主体を超えて国境横断的なリスクが地球規模で共有・認識されていることに鑑み近年、世界的な公共資源・公共領域としての「グローバル・コモンズ」の可能性が議論されている。そこでは、集団的利益を考慮して合意や規則を確立し、多様な集団の行動をうまく制御するシステムを構築することが、グローバル・リスクへの対策として示されている。

「グローバル・コモンズ」を創生する上で問題なのは、「集団的利益」の底流にあるグローバルな理念と規範の共有可能性である。近代西欧におけるウェストファリア的主権国家と近代的民主主義の出現と拡大は、現行の国際秩序の原型を生み出した。そしてそれは、世界大戦や植民地統治、国際機構の設立を通じて世界的に伝播し、国際社会において共通のグローバルな規範として受容されるに至った。しかし、グローバルな規範としての民主主義概念と主権国家概念は、国や地域によって一様に受容されたわけではない。ヨーロッパのなかでもドイツ、イタリア、スペインでは、民主主義の受容は第二次大戦後であったし、旧東欧諸国では冷戦終結以降であった。アジアでは、多民族国家という構造的条件を持つミャンマーやマレーシア、シンガポールなど、統合の危機に直面して民主主義の受容自体を回避した例が見られる。加えて、民主主義の生成過程や機能、制度的内容は、受容する国民国家の性質によって大きく異なる。差異は西欧諸国と非欧米諸国との間で顕著であり、特に植民地支配経験国においては、西欧型主権国家概念に対する強い疑義と反発がある。こうした国々は、しばしば競争原理に基づく自由民主主義を相対化し、対抗規範（「アジア型民主主義」等）を掲げる。「西洋的な主権国家体系によって破壊され」た「中国伝統思想の鍵概念を援用」してグローバルな秩序理念を提示する中国の「天下体系」論は、その一例であろう。第一次大戦後の中東領域国家の布設を否定しカリフ制の復興を主張する「イスラーム国」も、また同様である。さらに、東南アジアでは、コンセンサスを重視する独自の主権国家規範の解釈と実践（「ASEAN方式」）のみならず、主権国家規範の相対化と国境を越えた民主主義の実現を求める市民社会運動の成長が見られる。

グローバル・コモンズの前提となりうるグローバル規範の多様性は、リスク自体の判別の複雑化とも関係する。安全（=security）に関して、リスクの対象と認定する側とされる側との間に政治的関係が反映される（「テロ」認定の恣意性など）ことは頻繁に指摘されるが、災害や疫病などの自然を対象とする一方向的なリスク認定（安全=safety）でも、規範の共有が常に期待できるわけではない。シーオーツ-CO₂規制における途上国と先進国の対立や、環境問題における地元社会と当該国政府、グローバル市民社会、国外主体の方向性の不一致とジレンマは、そのことを如実に現している。グローバル・リスクに即したグローバルな社会対話・社会調整の確立が急がれる。

以上の問題意識に基づき、本研究は、主権国家と民主主義という現代国際政治において中心的とされてきた規範と対抗規範をめぐる（「文明の衝突」とも言い換えうる）議論を整理した上で、そこに割って入るように新たな規範を掲げて登場した市民レベルの広域ネットワークが、経済のグローバル化と情報技術ネットワークの発達と関わりながら、国家主体に代わりグローバル・リスクにいかに対応してきたのか、グローバル・コモンズ創生の可能性を含めて検証する。とりわけ本研究では、人間の生活の最も基層をなす環境、生態系の問題をも実証事例として取り上げ、いかにグローバル・コモンズのジレンマを解消しうるのかを実証的に検証する。

2. 研究の目的

本研究は、国家間関係ではカバーできない、地球規模で共有される諸問題と諸現象が増加している現状を踏まえ、それらの動的展開過程を分野横断的に研究し、個々の社会の基層への影響を捉えつつ、グローバルな問題解決アプローチとグローバル・コモンズの創生の可能を探ることを

目的とする。

21世紀のグローバル社会は、日常の生活環境、経済活動、情報から思想・信条に至るまで、国民国家の枠組みを超えたグローバルな諸要素の影響を受けており、環境汚染や感染症、食の安全、テロリズムなど、国家を超えて共有されるリスクの領域が格段に広がっている。こうしたリスクは、便益と同様に、グローバルな経済活動に伴うモノ、カネ、労働力、情報の拡散によって、容易に国境を越えて世界に拡大する。こうしたグローバル・リスクは、国家主体による個別の対応によって解決されるものではなく、国家主体を単位とする従来の国際関係を超えた新たなグローバル・アプローチの確立が喫緊の課題となる。

本研究は、主権国家と民主主義という現代国際政治において中心的とされてきた規範と対抗規範をめぐる、「文明の衝突」ともみえる議論を整理した上で、そこに新たな規範を掲げて登場した市民レベルの広域ネットワークが、経済のグローバル化と情報技術ネットワークの発達と関わりながら、国家主体に代わりグローバル・リスクにいかに対応してきたのか、グローバル・コモンズ創生の可能性を含めて検証する。また、本研究では、人間の生活の最も基層をなす環境、生態系の問題をも実証事例として取り上げ、いかにグローバル・コモンズのジレンマを解消しうるのかを実証的に検証する。

3．研究の方法

本研究では、国際政治経済からイスラーム社会運動、文明論、市民社会論、文化人類学、環境農学と、極めて幅広い方法論をとるが、規範と制度を巡る社会科学のアプローチと、グローバル規範の矛盾とグローバル・リスクが集約されて顕在化するアジア・アフリカのミクロな社会動態を調査する地域研究のアプローチを2つの軸として、研究を展開する。特に、環境農学の専門家を分担者に加え、人文社会科学ではカバーできない、自然環境要因を分析対象とするグローバル・リスクへの対処方法を模索する。具体的な研究手法としては、西欧起源の主権国家と民主主義という概念がグローバル規範として確立される歴史的過程と、イスラーム思想などそれへの対抗概念の展開については、国際政治史、社会運動論の手法を、グローバル・コモンズ形成の基盤ともなりうるグローバルな市民社会の形成過程とその成長に伴う新たなグローバル規範の形成については政治学を、経済のグローバル化がグローバル・リスク、グローバル規範の形成、市民社会ネットワークの発展に与える影響については経済学を、グローバルな情報関連技術の拡散がアフリカの社会形態に与える影響については文化人類学を、そして食料安全保障の向上および農村の貧困解消と、脆弱な環境・生態系に対する過剰な負荷、それに関連した農業体系の地域間差については、農学を用いて分析する。研究分担者と研究協力者は、アジア、アフリカ、欧州などの研究対象国での現地調査を年1~2回実施し、国内では頻りに研究会を開催して相互に意見交換の場を確保する。加えて、研究成果を国際シンポジウムや国際ワークショップなどを通じて世界に向けて適宜公表し、内外の第一線の研究者と研究交流を深める。こうした対面的議論の場およびオンライン・ジャーナルへの投稿を通じて研究成果を報告し、文理融合型のグローバル・アプローチを確立する。

4．研究成果

本研究は、生態環境や技術、思想、交易、人の移動の中に見られるローカルな関係性からグローバルな関係性への広がりを扱い、グローバルな規範の役割とグローバル・コモンズの創生可能性を探ることを目的とした。本研究で明らかにしようとしたのは、西欧起源のグローバル規範とそれへの対抗概念の展開、グローバル市民社会の形成過程、SNSや携帯電話などの情報関連技術の発展やグローバル資本の浸透が、途上国におけるグローバル規範の受容・拡散と市民社会ネットワークの形成に与える影響である。さらには、貧困、脆弱な環境・生態系に対する過剰な負荷、農業体系の地域間差といったアジア、アフリカ農村の問題に対処する上で、持続可能なモデルとしてのグローバル・コモンズをいかに確立できるかを模索した。～については、特にローカルからグローバルへと連なる関係性の連鎖を分析対象とし、グローバル世界のなかでも最も小さく辺境に位置付けられた世界、すなわちローカルな地方共同体や島嶼地方、移民・難民などを取り上げ、彼らがグローバル規範を利用しつついかに国外の国家、非国家、超国家のネットワークを確立したのかについて分析した。そこでは、結びつけられる関係が必ずしも単線的、固定的、永続的なものではなく、規範に対する認識や適用にずれが存在することを明らかにした。～については、2018年2月に実施したグローバル・コモンズに関する国際シンポジウムでの議論を土台に、本研究が掲げる移民、人権、環境・生態系、情報技術、農業・食料安全保障、疫病、国境を越えた経済活動、市民社会ネットワークなどの多様なイシューを取り込み、コモンズをキーワードとした文理融合研究のモデルを完成させることができた。

具体的な成果は以下となる。2016年度は、コモンズを用いた文理融合アプローチを実践する場として東南アジアに焦点を絞り、地域統合をキーワードとする計画研究A02班との共催で、国際シンポジウム「ASEANの統合と開発 - メコン川とミャンマーから考える」を実施し、研究成果を『ASEANの統合と開発 - インクルーシブな東南アジアを目指して』（作品社）として公表した。2017年度は、グローバル・コモンズ研究会を立ち上げ、研究計画A02との共催で、国際シンポジウム「メコン・コモンズからメコン共同体へ」を開催し、メコン地域の第一線で活躍する研究者等を招聘し、コモンズに必要な条件や要素を文理の垣根（歴史学、社会学、国際政治学、国際関係論、国際経済学、開発学、農業経済学、生物工学、地理学、公衆衛生学、工学、農学、土壌学など）を越え、移民、人権、人身売買、コネクティビティ、ロジスティクス、食料安全保障、疫病、公衆衛生、水資源、模倣品を具体的に取り上げた。同時に、国際シンポジウムで研究協力体制を確立したメコン機構（Mekong Institute）と学術協定（MOU）を締結し、学術研究連携をも進めた。2018年度は、国際シンポジウム「アジアの農村の持続性 - 都市と地方の共存共栄は可能か」を開催し、農村に焦点を絞り、文理融合の観点から、労働力不足の観点から、移民労働と農業の持続可能性を論じた。2019年度からは、コモンズに加え、研究テーマの主軸の1つに移民難民問題を置き、国際ワークショップ「アジア域内の南-南型人口移動の現状と課題 - インドの経験を中心に」を開催した。加えて、文明とネットワークの観点から、国家の枠組みを飛び越えて広がるトランスナショナルな現象にも注視した。以上の研究を推進するために、ベトナム・カンボジア・タイ（コモンズ関連）、イギリス・オランダ・イタリア（外交資料収集、在欧ムスリム移民への排外的感情・差別増加に関して）、ザンビア（難民キャンプにおける農業活動・資源配分調査）、トルコ・フランス・スウェーデン（ムスリム同胞団関係者に対する聞き取り）などでの現地調査を実施した。2020年度では、本研究の和書の成果として、『移民現象の新展開（第6巻）』と『ローカルと世界を結ぶ（第7巻）』（岩波書店）をグローバル関係学シリーズとして上梓した。前者では、国境を越えて移動する人々の数は増加の一途をたどる一方、国際的な移民数の増加とともに、従来はその大多数を占めた「南から北」以外の移動が増え、多様化・複雑化しつつある現状に焦点を当て、その実態と構造を分析した。後者では、従来語られてきた、ローカル→国家→トランスナショナル、という連続的に展開されるネットワークのあり方ではなく、国家の枠組みを飛び越えて繋がっていく、国際NGOやグローバルな組織、広域の関係性や存在を論じた。2021年度には、2018年度の国際シンポジウムで研究協力体制を確立したメコン機構との学術協定（MOU）を活かし、チェンマイ大学やマヒドン大学の協力も得ながら、コモンズをキーワードとする文理融合型国際共同研究の成果として、*From Mekong Commons to Mekong Community: Interdisciplinary Approach to Transboundary Challenges*（Routledge, 2021）を公表した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計54件（うち査読付論文 19件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 13件）

1. 著者名 M. Kitayama, R. Tisarum, T. Samphumphuang, K. Cha-um, M. Takagaki, and S. Cha-um	4. 巻 95(6)
2. 論文標題 Promotion of Calcium, Total Soluble Sugar, Ascorbic Acid and Tocopherol Contents by Foliar Paclobutrazol Application and Salt Elicitor in Two Water Spinach Genotypes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Horticultural Science and Biotechnology	6. 最初と最後の頁 782-793
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Suthisak Saengthapratip, Jyotsna Jhoshi, Geng Zhag, Michiko Takagaki, Toyoki Kozai, and Wataru Yamori	4. 巻 59
2. 論文標題 Optimal Light Wavelength for a Novel Cultivation System with a Supplemental Upward Lighting in Plant Factory with Artificial Lighting	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Environment Control in Biology	6. 最初と最後の頁 21-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2525/ecb.59.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Wenshuo Xu, Na Lu, Masao Kikuchi, and Michiko Takagaki	4. 巻 11
2. 論文標題 Effects of Node Position and Electric Conductivity of Nutrient Solution on Adventitious Rooting of Nasturtium (<i>Tropaeolum majus</i> L.) Cuttings	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Agronomy	6. 最初と最後の頁 363-363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/agronomy11020363	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Na Lu, Chorong Song, Takanori Kuronuma, Harumi Ikei, Yoshifumi Miyazaki, and Michiko Takagaki	4. 巻 12
2. 論文標題 The Possibility of Sustainable Urban Horticulture Based on Nature Therapy	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 5058-5058
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su12125058	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ken Ishida	4. 巻 47(1)
2. 論文標題 Transnational Nazism: Ideology and Culture in German-Japanese Relations, 1919-1936. By Ricky W. Law. Cambridge University Press, Cambridge, 2019. xvi, 343 pages.	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Japanese Studies	6. 最初と最後の頁 227-231
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 48(1)
2. 論文標題 エジプトにおけるイスラーム主義の安全保障化	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際安全保障	6. 最初と最後の頁 60-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐 誠一	4. 巻 35(3/4)
2. 論文標題 メコン川における越境漁業管理プロジェクトの進展と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 千葉大学法学論集	6. 最初と最後の頁 1-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 536
2. 論文標題 エジプトにおけるムスリム同胞団の危機と生存戦略	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東研究	6. 最初と最後の頁 6-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高垣 美智子ほか	4. 巻 12(2)
2. 論文標題 シンポジウム：アジア農村の持続性・・・都市と地方の共存共栄は可能か	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 熱帯農業研究	6. 最初と最後の頁 103-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S.Boondum, P. Chulaka, P. Kaewson, T. Nukaya, M. Takagaki, and W. Yamori	4. 巻 1245
2. 論文標題 Carbon Dioxide (CO2) Enrichment in Greenhouse Enhanced Growth and Productivity of Tomato (Solanum Lycopersicum L.) during Winter	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Horticulturae	6. 最初と最後の頁 61-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17660/ActaHortic.2019.1245.9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuki Kitayama, Thapanee Samphumphuang, Rujira Tisarum, Cattarin Theerawitaya, Kwankhao Cham, Michiko Takagaki, and Suriyan Cham	4. 巻 95
2. 論文標題 Calcium and Soluble Sugar Enrichments and Physiological Adaptation to Mild NaCl Salt Stress in Sweet Potato (Ipomoea Batatas) Genotypes	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Horticultural Science and Biotechnology	6. 最初と最後の頁 782 ~ 793
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/14620316.2020.1749532	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 47(5)
2. 論文標題 共生社会で求められる「相対的よそ者」の視点 (特集 新移民時代：入管法改正・技能実習生・外国人差別) -- (差別をめぐって)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 68-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 48(4)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(7) - ウィリアムズバーグと明暗を分けた二つのコミュニティ(1)プエルトリコ系移民組織の自助住宅修繕支援	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 49-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 48(6)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(8) - ウィリアムズバーグと明暗を分けた二つのコミュニティ(2)再開発を生き延びたユダヤ超正統派コミュニティの政治戦略	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 56-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 1235
2. 論文標題 移民社会フランスの新たな挑戦 (特集 「移民社会」をどう捉えるか)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 三田評論	6. 最初と最後の頁 36-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 48(8)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(9) - 借家人運動における歴史的転換点 : 2019年「統一賃規制」運動の背景と課題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 37-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 32
2. 論文標題 フランスにおける「移民・難民危機」と尊厳 - 抵抗運動の背景としての「移民難民をめぐる政治」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 年報社会学論集	6. 最初と最後の頁 34-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 42
2. 論文標題 「予期せぬ共生」と人種分断を越える実践 - ブルックリンのジェントリフィケーションをめぐる一考察 (特集 都市空間のアメリカ史)	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アメリカ史研究	6. 最初と最後の頁 54-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 48(10)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(10) - 小規模店舗の消失と抵抗の兆し	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 42-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 48(12)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(11) - 「カリビアン・デー・パレード」の光と影	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 38-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 49(2)
2. 論文標題 移民の街・ニューヨークの再編と居住をめぐる闘い(12) - 場所の名称をめぐる闘争	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 UP	6. 最初と最後の頁 34-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 929
2. 論文標題 SEKAI Review of Books 「私たち-彼ら」の関係を問う - 自分も「移民」となる可能性を知る意味	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 世界	6. 最初と最後の頁 234-239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 43(4)
2. 論文標題 エジプトにおける第2期スィーサー政権の発足	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 29-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 121
2. 論文標題 「安定」から読むエジプト情勢 - スィーサー大統領の政権運営を中心に	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 インテリジェンス・レポート	6. 最初と最後の頁 14-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 676
2. 論文標題 スイーサー政権下のエジプトにおける選挙と権威主義体制	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 国際問題	6. 最初と最後の頁 15-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 43(11)
2. 論文標題 エジプトにおける憲法改正議論 - スウィーサー政権下の「安定」の持続を求めて	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 11-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 T. Tsuboi, G. Asea, A. Maruyama, S. Matsumoto, K. Miyamoto, A. Goto, E. S. Justin, K. Inubushi, R. Ikeda, M. Takagaki, A. Yoshimura, and M. Kikuchi	4. 巻 62(2)
2. 論文標題 Effects of Rainfall, Continuous Cropping, and Fertilizer on Yield and Yield Components of an Upland NERICA Variety: A Statistical Analysis of a Long-Term Field Experiment in Uganda	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Tropical Agriculture and Development	6. 最初と最後の頁 78-93
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Saengtharutip, L. Na, M. Takagaki, and M. Kikuchi	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 Productivity and Cost Performance of Lettuce Production in Plant Factory Using Various LED Lamps with Different Spectra	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of International Society for Southeast Asian Agricultural Sciences	6. 最初と最後の頁 1-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Saengtharatip, N. Lu, and M. Takagaki	4. 巻 1227_79
2. 論文標題 Supplemental upward LED Lighting for Growing Romaine Lettuce (Lactuca Sativa) in a Plant Factory: Cost Performance by Light Intensity and Different Light Spectra	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Acta Horticulturae	6. 最初と最後の頁 623-630
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.17660/ActaHortic.2018.1227.79	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Junko Maruyama	4. 巻 11(46)
2. 論文標題 Keeping a Distance: 'Bushman Tourism' in Botswana	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Global-E	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Scarlett Cornelissen and Junko Maruyama	4. 巻 11(34)
2. 論文標題 Tourism, Capital, and Livelihoods in Africa	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Global-E	6. 最初と最後の頁 74-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 85
2. 論文標題 「難民危機」に直面する都市ー「避難都市」パリにおける市民社会の役割	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 法社会学	6. 最初と最後の頁 74-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 336
2. 論文標題 パリ市における「移民・難民」集積地域と「共住」の試み - 「キャンプ」から「市民ハウジング」まで	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 28-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 巻 156
2. 論文標題 Knocked-down Exports of Automobiles	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Papers and Proceedings of Economics (明治学院大学経済研究)	6. 最初と最後の頁 101-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 巻 157
2. 論文標題 Intra-Industry Trade in the Japanese Automobile Sector	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Papers and Proceedings of Economics (明治学院大学経済研究)	6. 最初と最後の頁 149-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐 誠一	4. 巻 32(1・2)
2. 論文標題 東アジアにおける人権規範の「地域適合化」と市民社会	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 千葉大学法学論集	6. 最初と最後の頁 49-110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐 誠一	4. 巻 45
2. 論文標題 ASEANが抱える人権と民主主義の隘路	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 外交	6. 最初と最後の頁 82-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Na Lu, Emmanuel L. Bernardo, Chayanit Tippayadarapanich, Michiko Takagaki, Natsuko Kagawa, and Wataru Yamori	4. 巻 8
2. 論文標題 Growth and Accumulation of Secondary Metabolites in Perilla as Affected by Photosynthetic Photon Flux Density and Electrical Conductivity of the Nutrient Solution	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Frontiers in Plant Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fpls.2017.00708	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 S. Matsumoto, T. Tsuboi, G. Asea, K. Miyamoto, A. Maruyama, M. Takagaki, and M. Kikuchi	4. 巻 12(26)
2. 論文標題 Effects of Plant Density on the Performance of Selected African Upland Rice Varieties	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 African Journal of Agricultural Research	6. 最初と最後の頁 2262-2272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5897/AJAR2017.12481	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Y. Okuyama, A. Maruyama, M. Takagaki, and M. Kikuchi	4. 巻 118
2. 論文標題 Technical Efficiency and Production Potential of Selected Cereal Crops in Senegal	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of Agriculture and Rural Development in the Tropics and Subtropics	6. 最初と最後の頁 187-197
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸山 淳子	4. 巻 92
2. 論文標題 ボツワナ中西部における「ブッシュマン観光」の成立と展開 - 観光と地域の社会関係のダイナミズム	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 55-68
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 丸山 淳子・目黒 紀夫	4. 巻 92
2. 論文標題 アフリカにおける「住民参加型観光」の再検討 - 地域社会の視点から	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 19-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Junko Maruyama	4. 巻 Suppl. 54
2. 論文標題 From “Displaced Peoples” to “Indigenous Peoples”: Experiences of the !Xun and Khwe San in South Africa.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 African Study Monographs	6. 最初と最後の頁 137-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/230157	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森 千香子	4. 巻 53
2. 論文標題 「ホームグローウン・テロリズム」の社会的背景 - フランスにおけるマイノリティ差別とセグリゲーション	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 HQ	6. 最初と最後の頁 32-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 巻 154
2. 論文標題 A Review of Japanese Voluntary Export Restraint (VER) on Automobiles	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Papers and Proceedings of Economics (経済研究)	6. 最初と最後の頁 85-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 巻 37
2. 論文標題 Agglomeration under Money Illusion	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Economics Bulletin	6. 最初と最後の頁 2962-2969
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 巻 155
2. 論文標題 Used Car Exports from Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Papers and Proceedings of Economics (経済研究)	6. 最初と最後の頁 71-78
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ken Ishida	4. 巻 -
2. 論文標題 Studio Politico Comparativo Sulla Seconda Guerra Mondiale fra Giappone e Italia	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Atti della Settimana della lingua italiana nel mondo 2016	6. 最初と最後の頁 35-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 42/11
2. 論文標題 大統領選挙を間近に控えたエジプト - 「安定」をめぐる政治・経済の現状分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 中東協力センターニュース	6. 最初と最後の頁 24-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 五十嵐 誠一	4. 巻 46
2. 論文標題 東アジアの平和の再創造	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 平和研究	6. 最初と最後の頁 i-xx
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渥美 利弘	4. 巻 153
2. 論文標題 Infant Industry Argument of Trade Protection and Japanese Automotive Industrial Policy	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 経済研究	6. 最初と最後の頁 165-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 93
2. 論文標題 エジプトの「安定」に関する再検討 - スィースイー政権下の治安・経済を中心に	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 インテリジェンス・レポート	6. 最初と最後の頁 33-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横田 貴之	4. 巻 101
2. 論文標題 スイーサー政権が直面する内政上の諸課題 - テロと経済低迷に苦慮、支持率も低下傾向	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 インテリジェンス・レポート	6. 最初と最後の頁 28-35
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Yokota	4. 巻 10
2. 論文標題 Egyptian Politics and the Crisis of the Muslim Brotherhood since 2013	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 19-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計50件 (うち招待講演 29件 / うち国際学会 22件)

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 役に立つ観光・役に立つ研究 - アフリカの住民参加型観光から学ぶこと
3. 学会等名 日本アフリカ学会第57回学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 ひとりひとりと向き合う - コロナ禍の学部におけるフィールドワーク教育の困難と可能性
3. 学会等名 日本学会議公開オンラインシンポジウム「コロナ時代におけるフィールドワーク教育をめぐって」 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 五十嵐 誠一
2. 発表標題 メコン地域における新たなアーキテクチャー構築の可能性
3. 学会等名 政策本会議（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 中東諸国のムスリム同胞団の思想と活動実態
3. 学会等名 （一財）日本エネルギー経済研究所中東研究センター情勢分析報告会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 エジプト現状分析 - スィーサー政権下の内政を中心に
3. 学会等名 中東情勢講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 エジプトにおけるムスリム同胞団の新たな挑戦とその課題
3. 学会等名 現代イスラーム世界を眺望する - 研究の最前線（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 「自然保護」が生みだす土地格差 - ボツワナ西部におけるサンと野生動物保護・家畜管理をめぐる諸問題
3. 学会等名 日本アフリカ学会第56回学術大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Mobility and Indigeneity: Land Issues among the San Hunter-Gatherers of Southern Africa
3. 学会等名 International Conference on Resources and Human Mobility (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Takagaki, L. Na, and H. Hara
2. 発表標題 Business Model of M-Plant Factory
3. 学会等名 III International Congress on Controlled Environment Agriculture (ICCEA 2019) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 松尾 昌樹
2. 発表標題 エネルギー資源と移民 - 湾岸アラブ型エスノクラシー
3. 学会等名 日本国際経済学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 齋藤 雄介・倉内 伸幸・加藤 太・佐々木 大・宮本 輝尚・高垣 美智子・吉野 稔
2. 発表標題 ウガンダ国セレレ県における在来農法とJICA推奨農法の比較からみた陸稲普及の課題点
3. 学会等名 日本熱帯農業学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大塚 俊・高垣 美智子・Nath Pichikum・Aussanee Pichakum
2. 発表標題 タイにおける高齢果樹農家の現状と展望 - サムットサーコーン県, ノンタブリ県, ラチャブリー県, チャンタブリ県の事例を中心に-
3. 学会等名 日本熱帯農業学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 高垣 美智子・藤家 雅子
2. 発表標題 ザンビア共和国の難民等再定住スキームについて
3. 学会等名 日本熱帯農業学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 M. Takagaki, L. Na, H. Hara, and S. Shimamura
2. 発表標題 Various Types of Indoor Vertical farming in Japan
3. 学会等名 Plant Factory: A Revolution for Sustainable Modern Agriculture (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 いま、なぜ「先住民」か
3. 学会等名 『先住民からみる現代世界』出版記念ワークショップ
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 観光はアフリカを救うのか? - 南部アフリカにおける民族文化観光の最前線
3. 学会等名 立教大学観光学部主催アカデミックアドバイザー企画講演会(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 分けあうことは疲れる、分けあわないことも疲れる - 現代の狩猟採集社会から考えるシェアリング
3. 学会等名 日本文化人類学会主催公開シンポジウム「現在・未来の経済社会に向けた人類学的知の再構築 - ブロックチェーンからシェアリング経済まで」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 「自然保護」が生み出す格差 - ボツワナにおけるサンの土地問題
3. 学会等名 研究会「自然保護という名の土地収奪」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森 千香子
2. 発表標題 「都市から「難民危機」を / 「難民危機」から都市を考える」
3. 学会等名 関東社会学会大会シンポジウム「移民・難民と人間の尊厳」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森 千香子
2. 発表標題 「『移民・難民危機』に直面する都市」
3. 学会等名 日本法社会学会学術大会シンポジウム「市民社会と社会的排除」（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 エジプト - 「安定」は虚像か実像か？
3. 学会等名 「アラブの心臓」に何が起こったのか - 現代中東の実像を捉える（科研費新領域研究「グローバル関係学」等共催）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Seiichi Igarashi
2. 発表標題 From the "Mekong Commons" to a "Mekong Community": Through the Synergy of Humanities and Sciences and Cooperation among Industry, Academia, Government, and Civil Society
3. 学会等名 International Symposium ' 'From Mekong Commons to Mekong Community' ' (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 M.Takagaki, T.Yamaguchi, and L. NA
2. 発表標題 Educating your Labor Force in CEA
3. 学会等名 ICCEA 2017 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 M.Takagaki, T.Yamaguchi, and L. NA
2. 発表標題 Education and Training on Protected Horticulture in Chiba University, Japan
3. 学会等名 沿海州・日本農業ビジネスフォーラム (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 S. Saengtharapip, N. Lu, and M. Takagaki
2. 発表標題 Supplemental upward LED Lighting for Growing Romaine Lettuce (<i>Lactuca Sativa</i>) in Plant Factory: Cost Performance by Light Intensity and Different Light Spectra
3. 学会等名 Greensys (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 J. Khwankaew, D.T. Nguyen, N. Kagawa, M. Takagaki, G. Maharjan, and N. Lu
2. 発表標題 Growth and Nutrient Level of Water Spinach (<i>Ipomoea aquatica</i> Forsk) in Response to LED Light Quality in Plant Factory
3. 学会等名 Greensys (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 ボツワナにおける「ブッシュマン観光」の成立とその展開
3. 学会等名 日本アフリカ学会第54回学術大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 先住民の法廷闘争と遊動生活 - ボツワナのサンを事例に
3. 学会等名 シンポジウム：先住民族と法 - 文化人類学、憲法学、国際法学の立場から（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Divided Land, Shared Land: Recent Land Issues among the San Hunter-Gatherers in Central Kalahari
3. 学会等名 African Forum: African Potentials to Develop Alternative Methods of Addressing Global Issues (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Nature Conservation, Land Access and Economic Disparities among the San Hunter-Gathers in Southern Africa
3. 学会等名 France-Japan Area Studies Forum: Voices for the Future: African Area Studies in a Globalizing World (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 丸山 淳子
2. 発表標題 カラハリ砂漠の子育てに学ぶ
3. 学会等名 よこはま国際フォーラム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chikako Mori
2. 発表標題 The Securitization of Migrants and the Rise of Anti-Immigrant Attitudes: The Role of the State and Immigration Policies in France
3. 学会等名 The Global Refugee Crisis: Mobile People under State Protection or Exploitation? (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森 千香子
2. 発表標題 フランスにおける「ムスリム女性」表象の変容 - 「哀れみの身体」から「狂暴な身体」へ
3. 学会等名 国際シンポジウム「イスラモフォビアの時代とジェンダー」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 渥美 利弘
2. 発表標題 Counterfeiting in Primary Markets
3. 学会等名 日本経済学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渥美 利弘
2. 発表標題 Product Variety and Counterfeiting in Primary Markets: General Equilibrium Implications and Enforcement Policy
3. 学会等名 日本經濟政策学会・國際會議 (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 渥美 利弘
2. 発表標題 Product Variety and Counterfeiting in Primary Markets: Implications for the Mekong Region
3. 学会等名 International Symposium: From Mekong Commons to Mekong Community (國際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takuro Kikkawa, Kota Suechika, and Takayuki Yokota
2. 発表標題 Re-formation of the Anti-Islamist Security Alliance in the Middle East: The Post-Arab Spring-Egypt's Foreign Policy Strategy and its Dynamics
3. 学会等名 ISA-GSCIS Workshop 2017 (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayuki Yokota
2. 発表標題 Comparing the Co-optation of the Opposition between Mubarak and al-Sisi
3. 学会等名 Religious Exchange and the Public Sphere in the Contemporary Middle East Workshop (招待講演) (國際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 スイースイー政権が直面する課題 - 内政・外交・経済
3. 学会等名 (一財)日本エネルギー経済研究所中東研究センター第5回情勢分析報告会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 「エジプト革命」再考 - イスラーム主義の政治的「敗北」の考察
3. 学会等名 日本イスラム協会2017年度後期公開講演会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 「イスラーム」を問い直す - 「イスラーム国」がもたらした再考の契機
3. 学会等名 明治大学公開講座2017年度秋期オープン講座(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Seiichi Igarashi
2. 発表標題 Civil Society 's Participation in Multi-Layered and Multi-Stakeholder Regions: Toward People-Centered Development
3. 学会等名 Chiba Studies on Global Fair Society International Symposium (国際学会)
4. 発表年 2016年～2017年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Changes of Personal Names of G ui and G ana San and their Socio-Historical Contact with Neighboring Naro San
3. 学会等名 Riezlern 6 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Land Issues and Global Indigenous Rights Movement among the San Hunter-Gathers in Southern Africa: Comparison of Two Cases from Botswana and South Africa
3. 学会等名 Department Speakers Series of the Department of Anthropology (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Coming to Political Consciousness: The Indigenous Land Rights Movement among the San of Southern Africa
3. 学会等名 Africanist Seminar Series of University of Toronto (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 Resettlement, Conservation and Tourism: Contemporary Dynamics of Residential Moves among the San in Central Kalahari Seminar
3. 学会等名 Series of the Centre for Society, Technology, and Development (STandD) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Junko Maruyama
2. 発表標題 "Bushman Tourism" in Botswana
3. 学会等名 Workshop on Participatory Tourism in Africa (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takayuki Yokota
2. 発表標題 State Repression and Islamist Survival Strategy: Case of Muslim Brotherhood in Egypt
3. 学会等名 Graduate School of Global Studies & Center for Interdisciplinary Study of Monotheistic Religions (CISMOR) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 エジプトにおけるムスリム同胞団の「挫折」と権威主義体制の再構築
3. 学会等名 科研費基盤研究(B)「現代中東におけるイスラーム主義運動の動向と政治的帰結に関する比較理論研究」(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 横田 貴之
2. 発表標題 エジプトのイスラーム主義運動は終焉したのか? - ムスリム同胞団の危機を手掛かりに
3. 学会等名 京都大学イスラーム地域研究センター(招待講演)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計34件

1. 著者名 Seichi Igarashi (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 260
3. 書名 From Mekong Commons to Mekong Community: An Interdisciplinary Approach to Transboundary Challenges	

1. 著者名 水島 治郎・米村 千代・小林 正弥 (編)、五十嵐誠一	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 312(167-197)
3. 書名 公正社会のビジョン	

1. 著者名 松尾 昌樹・森 千香子 (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 264
3. 書名 移民現象の新展開	

1. 著者名 日本平和学会 (編)、石田 憲	4. 発行年 2020年
2. 出版社 法律文化社	5. 総ページ数 189(26-27)
3. 書名 戦争と平和を考えるNHKドキュメンタリー	

1. 著者名 藤井崇(編)、石田 憲	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 340(260-261)
3. 書名 論点・西洋史学	

1. 著者名 五十嵐 誠一・酒井 啓子(編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 254
3. 書名 ローカルと世界を結ぶ	

1. 著者名 鈴木 董(編)、横田 貴之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 清水書院	5. 総ページ数 376(336-346)
3. 書名 西洋編 上+中東編	

1. 著者名 五十嵐 誠一・酒井 啓子(編)、丸山 淳子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 254(158-178)
3. 書名 ローカルと世界を結ぶ	

1. 著者名 五十嵐 誠一・酒井 啓子(編)、石田 憲	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 254(68-89)
3. 書名 ローカルと世界を結ぶ	

1. 著者名 五十嵐 誠一・酒井 啓子(編)、横田 貴之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 254(46-65)
3. 書名 ローカルと世界を結ぶ	

1. 著者名 T. Kozai, G. Niu, and M.TAKAGAKI (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 450
3. 書名 Plant Factory: An Indoor Vertical Farming System for Efficient Quality Food Production, Second Edition	

1. 著者名 宇佐見 耕一・岡 伸一(編)、森 千香子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 557(262-288)
3. 書名 新世界の社会福祉	

1. 著者名 石田 憲	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 220
3. 書名 戦後憲法を作った人々	

1. 著者名 江原宏ほか(編)、高垣美智子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 培風館	5. 総ページ数 259(138-140)
3. 書名 熱帯農学概論	

1. 著者名 樽本 英樹(編)、森 千香子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 332(25-52)
3. 書名 排外主義の国際比較 - 先進諸国における外国人移民の実態	

1. 著者名 Toshihiro Atsumi	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Sankeisha	5. 総ページ数 78
3. 書名 The Foundation and Applications of Monopolistic Competition	

1. 著者名 石田 憲	4. 発行年 2019年
2. 出版社 有志舎	5. 総ページ数 206
3. 書名 戦後憲法を作った人々 - 日本とイタリアにおけるラディカルな民主主義	

1. 著者名 Ken Ishida	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 218
3. 書名 Japan, Italy and the Road to the Tripartite Alliance	

1. 著者名 高岡 豊ほか(編)、横田 貴之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 323(181-203)
3. 書名 「アラブの春」以後のイスラーム主義運動	

1. 著者名 Stephane Lacroix, Yuki Shiozaki, and Yokota Takayuki	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Center for Islamic Studies, Sophia University	5. 総ページ数 48(39-43)
3. 書名 The Muslim Brotherhood within Islamic Geopolitical Dynamics: Developments in Saudi Arabia, Malaysia, Indonesia, and Egypt	

1. 著者名 Hidetoshi Taga and Seiichi Igarashi (編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 240
3. 書名 The New International Relations of Sub-Regionalism: Asia and Europe	

1. 著者名 五十嵐 誠一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 424
3. 書名 東アジアの新しい地域主義と市民社会 - ヘゲモニーと規範の批判的地域主義アプローチ	

1. 著者名 安里 和晃 (編)、五十嵐 誠一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 312 (247-298)
3. 書名 国際移動と親密圏 - ケア・結婚・セックス	

1. 著者名 深山 直子・丸山 淳子・木村 真希子 (編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 288(1-20, 245-264)
3. 書名 先住民からみる現代世界 - わたしたちの あたりまえ に挑む	

1. 著者名 白石 壮一郎・椎野 若菜(編)、丸山 淳子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 古今書院	5. 総ページ数 216 (132-149)
3. 書名 社会問題と出会う (FENICS100万人のフィールドワーカーシリーズ 7)	

1. 著者名 島田 周平・上田 元(編)、丸山 淳子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 176 (78-79)
3. 書名 世界地誌シリーズ 8 アフリカ	

1. 著者名 宮島 喬・木畑 洋一・小川 有美(編)、森 千香子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 296(197-224)
3. 書名 ヨーロッパ・デモクラシー - 危機と転換	

1. 著者名 石戸光(編)、渥美利弘	4. 発行年 2017年
2. 出版社 三恵社	5. 総ページ数 93(77-92)
3. 書名 グローバル関係学ブックレット・政治経済的地域統合 - アジア太平洋地域の関係性を巡って	

1. 著者名 石戸 光(編), 渥美 利弘	4. 発行年 2018年
2. 出版社 三恵社	5. 総ページ数 122(30)
3. 書名 グローバル関係学ブックレット・政治経済的地域統合 - アジア太平洋・中東・ヨーロッパの動向から	

1. 著者名 高橋 進・村上 義和(編)、石田 憲	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 384
3. 書名 イタリアの歴史を知るための50章	

1. 著者名 山本 信人(編)、五十嵐 誠一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 慶應義塾大学出版会	5. 総ページ数 344(235-252)
3. 書名 東南アジア地域研究入門 3 政治	

1. 著者名 石戸 光(編)、五十嵐 誠一	4. 発行年 2017年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 117(99-104)
3. 書名 ASEANの統合と開発 - インクルーシブな東南アジアを目指して	

1. 著者名 岸上 伸啓 (編)、丸山 淳子	4. 発行年 2016年
2. 出版社 臨川書店	5. 総ページ数 324(184-208)
3. 書名 贈与論再考	

1. 著者名 私市 正年・浜中 新吾・横田 貴之 (編)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 390
3. 書名 中東・イスラーム研究概説 - 政治学・経済学・社会学・地域研究のテーマと理論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>グローバル関係学 http://www.shd.chiba-u.jp/gblcrss/index.html</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	高垣 美智子 (Takagaki Michiko) (00206715)	千葉大学・大学院園芸学研究所・教授 (12501)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	丸山 淳子 (Maruyama Jyunko) (00444472)	津田塾大学・学芸学部・准教授 (32642)	
研究分担者	松尾 昌樹 (Matsuo Masaki) (10396616)	宇都宮大学・国際学部・准教授 (12201)	
研究分担者	森 千香子 (Mori Chikako) (10410755)	同志社大学・社会学部・教授 (34310)	
研究分担者	石田 憲 (Ishida Ken) (40211726)	千葉大学・大学院社会科学研究院・教授 (12501)	
研究分担者	横田 貴之 (Yokota Takayuki) (60425048)	明治大学・情報コミュニケーション学部・専任准教授 (32682)	
研究分担者	渥美 利弘 (Atsumi Toshihiro) (20587282)	明治学院大学・経済学部・准教授 (32683)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	小林 達明 (Kobayashi Tatsuaki)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	齊藤 愛 (Saito Megumi)		
研究協力者	田端 誠 (Tabata Makoto)		
研究協力者	横田 明美 (Yokota Akemi)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 アジア域内の南-南型人口移動の現状と課題—インドの経験を中心に	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 アジアの農村の持続性 - 都市と地方の共存共栄は可能か	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Religious Exchange and the Public Sphere in the Contemporary Middle East Workshop	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 From Mekong Commons to Mekong Community: Toward Synergy of the Humanities and Sciences, Toward Synergy of Industry, Academia, Government, Civil Society	開催年 2018年～2018年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
タイ	Mekong Institute	Mahidol University	Chiang Mai University	
ベトナム	Southern Institute of Social Sciences			
ロシア連邦	沿海地方農業アカデミー			
ウガンダ	Busitema University			